

ガラスびん品種別出荷動向(平成28年)

単位:「数量・重量」⇒「千本・トン」

日本ガラスびん協会

年 月	内訳	薬	ドリンク			化粧品	食料・調味料			牛乳	酒類							飲料	合計
			小壺D	飲料D	ドリンク計		食料	調味料	食調計		一升びん	清酒中小	焼酎	ビール	ウイスキー	他洋雑酒	酒類計		
28年 1月	数量	22,757	120,306	51,074	171,380	6,459	58,957	53,677	112,634	7,018	4,184	32,440	5,199	6,114	5,667	11,822	65,426	31,983	417,657
	重量	2,580	11,196	7,155	18,351	521	10,428	8,719	19,147	1,127	3,994	9,294	2,165	2,002	2,841	4,034	24,330	7,509	73,565
2月	数量	24,506	142,069	61,696	203,765	5,250	63,863	66,177	130,040	3,536	4,407	34,115	6,081	5,819	7,150	13,431	71,003	40,151	478,251
	重量	2,837	13,641	8,631	22,272	497	11,331	10,860	22,191	578	4,196	9,616	2,638	1,703	3,561	4,721	26,435	9,390	84,200
3月	数量	23,452	147,373	68,765	216,138	4,482	75,029	77,129	152,158	4,649	5,495	40,333	7,851	12,353	7,765	17,131	90,928	45,169	536,976
	重量	2,835	14,295	9,640	23,935	449	13,443	13,072	26,515	803	5,242	11,421	3,296	3,637	3,847	5,770	33,213	10,764	98,514
4月	数量																		
	重量																		
5月	数量																		
	重量																		
6月	数量																		
	重量																		
7月	数量																		
	重量																		
8月	数量																		
	重量																		
9月	数量																		
	重量																		
10月	数量																		
	重量																		
11月	数量																		
	重量																		
12月	数量																		
	重量																		
28年累計	数量	70,715	409,748	181,535	591,283	16,191	197,849	196,983	394,832	15,203	14,086	106,888	19,131	24,286	20,582	42,384	227,357	117,303	1,432,884
	重量	8,252	39,132	25,426	64,558	1,467	35,202	32,651	67,853	2,508	13,432	30,331	8,099	7,342	10,249	14,525	83,978	27,663	256,279
28年累計 前年比	数量	98.3%	106.0%	103.1%	105.1%	99.9%	99.6%	96.1%	97.8%	88.0%	98.0%	100.5%	99.5%	91.5%	99.3%	83.1%	95.4%	100.4%	100.4%
	重量	107.9%	104.3%	102.8%	103.7%	115.1%	98.4%	97.0%	97.7%	90.8%	97.9%	102.0%	97.4%	90.4%	100.0%	83.1%	95.9%	103.5%	99.5%

※ 正会員 6社のみのデータです

＜平成28年第一四半期の出荷状況について＞

- ・2016年の第一四半期(1月～3月)の出荷状況は、重量では前年比99.5%、数量では100.4%となりました。
- ・好調を維持してきた「酒類びん」が前年割れとなり、特に「その他洋雑酒びん」が重量・数量ともに前年比83.1%と大きく落ち込みました。
- ・「薬びん」「化粧品びん」は昨年来の好調を維持しています。
- ・4月以降の需要は、昨年の好調反動もあり、微減で推移すると予測しています。